

「IT監査保証の判断基準」 研究プロジェクト成果報告

主査：松尾 明・石島 隆

研究プロジェクトの概要

- 研究テーマ

- 2013年に公表された米国公認会計士協会・カナダ勅許会計士協会の「Information Integrity」の白書を基に、急速に拡張するWebサーバを取り込んだ、システム評価の判断基準(クライテリア)を検討し、国内、海外向けに公表する。

- 今後の進め方についての打ち合わせ

- 2014年5月21日に、主査の松尾、石島で打ち合わせを行い、今後の研究プロジェクトの進め方を決定した。

研究プロジェクトの進め方

• プロジェクト目標

- 1年目・・・国内向け課題抽出と提言（日本語）
- 2年目・・・アジア、米国、欧州を見据えた課題抽出と提言（日本語）
- 3年目・・・英語による国際的提言

• 開催場所・日時

- 法政大学市ヶ谷キャンパス新一口坂校舎4階ラボスクエア
- 毎月第2水曜日 18時30分～20時30分

1年目の進め方

- 以下を基本文献として、「システム評価の判断基準(クライテリア)」を整理し、課題抽出と提言につなげる。
 - ドラッカー『テクノロジストの条件』ダイヤモンド社
 - 米国会計検査院「米国連邦政府向け内部統制基準(公開草案)」
 - 米国公認会計士協会・カナダ勅許会計士協会「Information Integrity」

主査のプロフィール

松尾 明

システム監査学会会長

日本ITガバナンス協会会長

元ISACA国際本部会長

元日本公認会計士協会IT委員会委員長

石島 隆

システム監査学会常任理事

法政大学経営大学院教授

(株)浅沼組社外監査役

日本金融監査協会事務局長

参考

- 新COSOのプリンスプル 11が、ITのコントロールの有効性を評価するガイドラインを示している。
- 組織は、目標の達成を支援するためにテクノロジーに対応する全般的統制 General control 活動を選択、展開 developする。
- 着眼点 Point として
 - ビジネスプロセスにおけるテクノロジーの利用とテクノロジー全般的統制の間の依存関係の判断、決定 determine
 - テクノロジー基盤に係る統制活動の確立
 - セキュリティ管理プロセスに係る統制活動の確立
 - 関連性のあるテクノロジーの取得、開発および保守プロセスに係る統制活動の確立